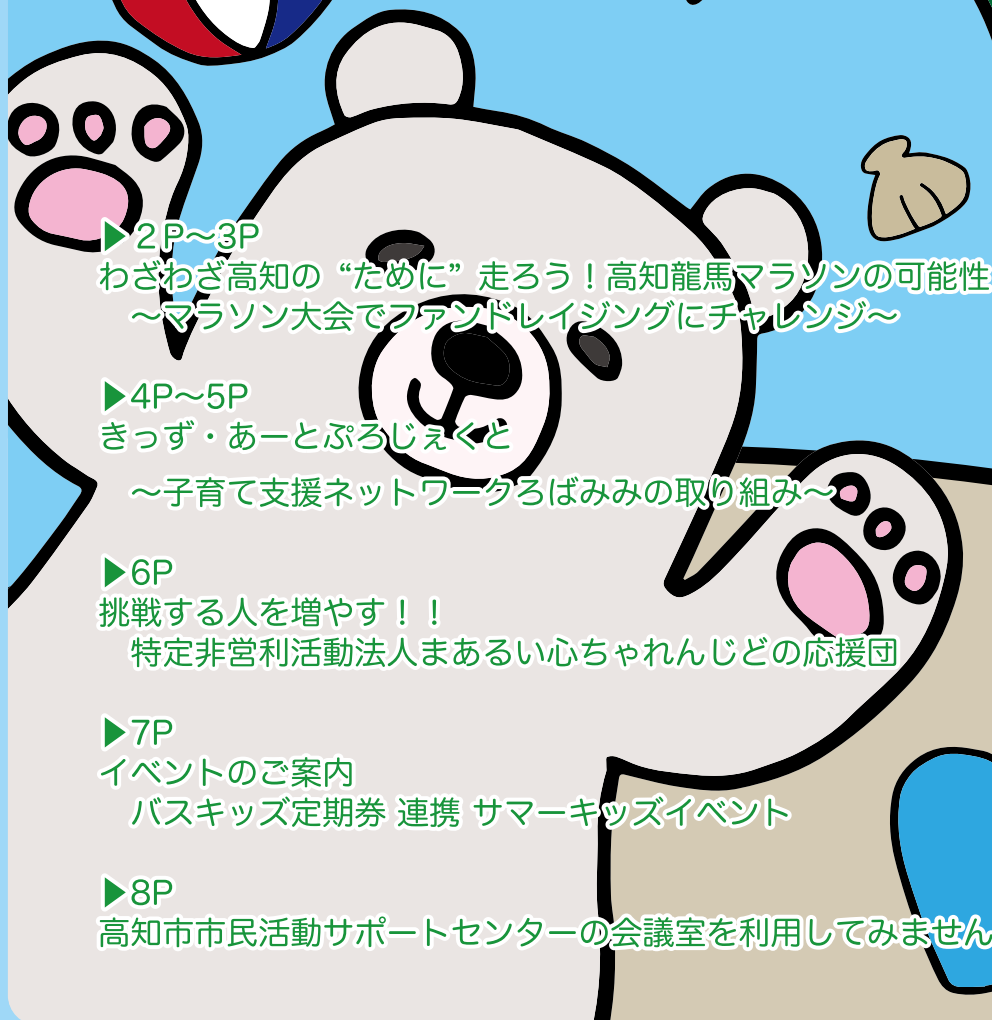
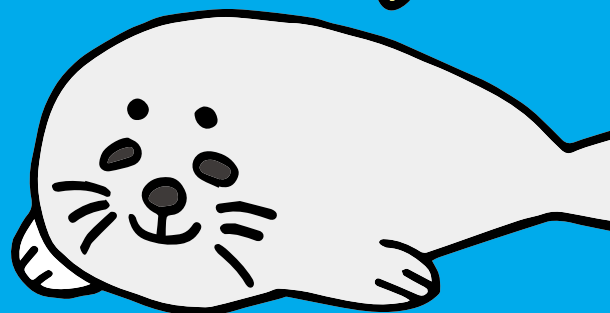
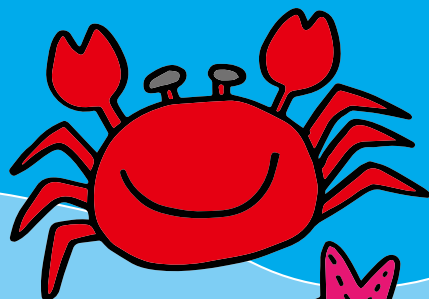
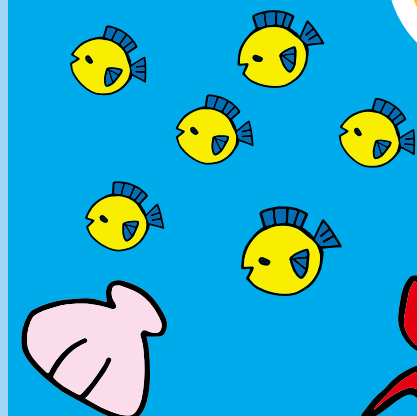


えぬびい! Oh!

2015 夏
Vol. 60



▶ 2P~3P

わざわざ高知の“ために”走ろう! 高知龍馬マラソンの可能性
~マラソン大会でフンドレイジングにチャレンジ~

▶ 4P~5P

きっず・あーとぷろじえくと
~子育て支援ネットワークろばみみの取り組み~

▶ 6P

挑戦する人を増やす!!
特定非営利活動法人まあるい心ちゃれんじどの応援団

▶ 7P

イベントのご案内
バスキッズ定期券 連携 サマーキッズイベント

▶ 8P

高知市市民活動サポートセンターの会議室を利用してみませんか?

わざわざ高知の“ために”走ろう！高知龍馬マラソンの可能性

～マラソン大会でファンドレイジングにチャレンジ～

「寄稿文」東森 歩 あゆみ

ファン度レイジング・マーケティング

2015年2月22日(日)午前9時00分。

私は東京都庁前のスタート「ゾーン」に立っていました。「東京マラソン2015」に出走する35,000人の中のひとりとして、スタートラインに立っていたのです。「東京マラソン」は日本で最も知名度の高いマラソン大会で、ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークの各都市で開催されるフルマラソン大会「ワールドマラソンメジャーズ」(WMMZ)のひとつとして開催されています。オリンピックの日本代表選手を選考するための記録を参考とする大会でもあり、国内のトップ選手はもちろん、海外からもエリート選手がエントリーしてくるレベルの大会です。そんなハイレベルな大会でもあるため35,000人のランナー枠に入り込むには、抽選という難関が待ち構えています。その競争率はなんと10倍超え!!毎年申し込みしているのに抽選で外れる…といったことも珍しくない倍率の高さ。日本の首都・東京のご真ん中を疾走できる快感に、日本はもろろん世界中から申し込みが殺到する、それが「東京マラソン」です。

そんなメジャー大会である「東京マラソン」のスタートラインになぜ私が立っているのか…?

伏線は「東京マラソン2015」から遡ること

およそ1年前。私は「高知龍馬マラソン2014」で人生初のフルマラソンにチャレンジをし、5時間23分27秒という初心者としても決して速くないタイムで見事完走を果たしました。「高知龍馬マラソン」は一般市民が誰でも気軽に参加できる大会として誕生して2年目を迎え、私も地元開催である気軽さと、「人生なんでも経験!」という持ち前の好奇心でエントリーをし、実際ほとんど練習もしないまままで完走を果たしました。自分の足で40kmを超えて走ってることができた…その時の感動ときたら…世界最高峰のエベレストに登頂したぐらいの高揚感に包まれ、42.195kmを自分の足で完走できたことに大きな自信を得ることができたのです。



感動と高揚感に包まれましたが、高知龍馬マラソンに出走した最大の理由は他にありません。本当の目的は…「スポーツ大会における

ファンドレイジングの可能性を見つける」ためです。

高知龍馬マラソンは将来的に1万人出走大会を目指して、2014年は5,000人が走る大会となっています。ファンドレイザーとしてNPOの資金調達をプランニングすることが仕事のひとつでもある私の中には「人が集まるところにファンドレイジングの匂い(可能性)あり!」という感覚があり、高知龍馬マラソンにその匂いを感じていました。高知龍馬マラソンにエントリーするランナーはほぼ全員参加費を支払います。その金額は8,000円です。足が痛くなって苦しくて大変な思いをするのに、8,000円もお金を出して5,000人以上の人が走るわけです。普通に考えたらさういふサディステックな世界なんです、こんな苦勞をお金を払って買う人たちのことをイメージすると、「参加費8,000円を支払えるランナーがあと1,000円出せないはずはない!」そこに私が感じる匂いがあるのです。つまり高知龍馬マラソンにエントリーするランナーに呼びかけようによつては、あと1,000円は出てくる可能性があるのです。

その呼びかけよう…とは?

「高知龍馬マラソンは、自分のためにだけ走るのではなく、自分と高知のために走る!!」という呼びかけです。「高知のため」とは、高知の

社会的課題の解決のために日夜活動を行うNPOの活動資金を、参加費に加えてあと〇〇〇円という形で呼びかけるのです。仮にひとり1,000円の寄付でランナー10,000人が全員寄付をした場合、1千万円のお金が集まります。もちろん寄付は任意の自由意志でおこなっていただきますので、実際はこの半分ぐらいが現実かもしれません。いずれにしてもその「呼びかけよう」を仕組みにしたい私は、実際に高知龍馬マラソンにエントリーをしてみ、どういう仕組みがあればランナーは参加費に加えていわゆる「寄付金」を出すのか…を自分の実感として体感するために高知龍馬マラソンを走ってみたのでした。

そして、前段の「東京マラソン」は寄付金10万円以上を集めて出走権を得るチャリティランナー(寄付一定額以上集めてマラソン出走資格を得るランナーのこと)として参加を果たしていたのです。東京マラソン出走3,5000人のうち3,000人はこのチャリティランナーの枠となっており、チャリティランナーが集める寄付金の金額は1回の大会で3億円を超えています。東京マラソンの参加費は10,800円です。つまり参加費収入でもおよそ3億円、チャリティランナーという仕組みでさらに3億円を集める一石二鳥の仕組みが東京マラソンにはあるのです。これをぜひ「高知龍馬マラソン」で実現したい!!

東京にももちろん社会的課題があり、その解決のために活動するNPO団体があるのですが、高知も人口減、高齢化、少子化、中山間地活性化、経済浮揚など国内を先取りする社会的課題が山積しています。その課題に対して人々の注目を集め、その解決のために資金・志金を集める仕組みをしなやかに併せ持つ「わざわざ高知のために」走ろう!高知龍馬マラソン」の1日でも早い実現に向けて、主催者である高知県の尾崎正直知事ならびに高知県教育委員会をはじめとする主催の関係機関に企画提案をしているところです。

さて、このアイデアがどこでバチつつながるか…

それも楽しみながらです!!



応援ありがとうございました~!!

KOCHI RYOMA MARATHON AND TOKYO MARATHON W-CHALLENGE

第1区間:2015年2月15日(日)

完走!!

高知龍馬マラソン2015

AM9:00 START

高知県庁前→春野陸上競技場

42.195km

総移動距離:791.0km

RUN距離:84.39km

東京マラソンチャリティランナーとして出場します。



【Official Partner】
ファンレイジング・マーケティング
FUN&FAN RAISING MARKETING



完走!!

第2区間:2015年2月22日(日)

東京がひとつになる日。2015年2月22日 開催
TOKYO MARATHON 2015

AM9:00 START

新宿都庁前→東京ビッグサイト

42.195km



AYUMI
HIGASHIMORI
WITH facebook

きっず・あーとぷるじえくと

～子育て支援ネットワークろばみみの取り組み～

○自由のびのびと

イベント当日、香美市立美術館のアトリエに集まってきたのは、0歳～2歳の乳幼児を連れたお母さん9組。みんなでご挨拶のあと、輪になって作業開始です。美術館の石見陽奈学芸員いしみのなが本日の先生。白い紙を箱型にし、三色の水彩絵の具をつけたビー玉を中に入れ、ころころ転がします。たった三色の絵の具でも、交じり合って多彩な線や面を表し始めます。

お母さんがサポートしながら「やってごらん」

子連れでのお出かけをためらう場所といえば、フレンチレストラン、コンサート、講演会・・・そしてきつと上位にあげられるのが美術館。静まり返った館内に響き渡る子どもの声に、「すみません、すみません」とそそくさに展示室を飛び出した経験が私にもあります。

でも、乳幼児の頃からアートに触れ楽しむことは、子どもの感性を豊かにし、心と体そして知能の発育にとっても重要って言われていいますよね。

平成22年4月から月に一度、香美市立美術館の協力を得て、親子でアートに触れ楽しむイベント「きっず・あーとぷるじえくと」を企画・運営している団体があります。子育て支援ネットワークろばみみろばみみのあや(杉村彩代表 以下ろばみみ)です。



と促すと、子ども達は夢中になって箱を振り振り、ビー玉の動きをじっと見つめています。子ども達の手も洋服も、絵の具でカラフルに彩られています。ですが、ここではそんなのお構いなし。素敵なアート作品が次々に生まれていきます。

「出来上がった作品は、百均で売られている物でも構わないので、是非額に入れて飾ってあげてくださいね。きれいだね、と一緒に感動を分かち合うことや、大切な作品として扱われている子どもが感じる事が大切です」杉村代表がお母さん達に語ります。

○先輩お母さん、活躍

作業の間、5名のろばみみスタッフは、終始笑顔でくると動きまわっています。親子の制作をサポートしながら、お母さんと赤ちゃん一人一人に「ずいぶん大きくなったね」などと話しかけ、一緒に成長を喜びます。初めて参加するお母さんには、輪に入れるよう寄り添います。お兄ちゃんが制作する間、乳児さんを抱っこしてあげています。穏やかな、温かな空間が広がっています。

「若いおばあちゃんみたい・・・」スタッフさん達の姿に、失礼ながら、孫を抱っこする田舎のばあばの温もりを思い出して、ぐっと胸が熱くなりました。

○できる範囲で、好きなことを

この企画を運営している、ろばみみのご紹介に移りたいと思います。

ろばみみが発足したのは2009年6月ですが、もとのスタートは交流スペース「子育て広場たんぽぽ」の運営をはじめた1998年とのことで、今年で17年目になります。

スタッフは、子育てがひと段落したママさんOB。自分が育児真っ盛りの頃、出来なかったことやあったらよかったことを、現役お母さんにしてあげています。いや、してあげている、というのは語弊があり、子育て真っ最中のお母さん達に寄り添いながら、共に学び、気付きや感動を分かち合い、共に成長することが出来る子育て支援でありたいのだそう。

そして、何より大切なことは「自分ができる範囲で、自分がしたいことを」というモットー。仕事も家庭もあるスタッフが、長く活動が続けられた秘訣です。

○多彩な活動内容

・「伝える」 子育て応援情報誌「ろばみみ通信」の発行、香美市立図書館に子育て情報コーナーの設置等

・「集う」 就園前の親子が自由につかえる交流スペース「子育て広場 たんぽぽ」の運営(毎週火金10時~15時 於:香美市プラザ八王子3階



和室)

・「学ぶ」 「きつずあーと・ぶるじえくと」や講演会・勉強会の開催

・「繋げる」 他の支援団体や行政とのネットワークづくり

・「暮らす」 有機野菜を栽培する「ろばみみファーム」での体験学習等や環境微生物「ろばみみA」の普及活動

○お母さんが元気だと子どもが元気!

子どもが元気だと地域が元気!

ろばみみの活動理念です。お母さんの「元気」は地域の元気の『源』。笑顔のお母さんが増えると、笑顔の子どもも増えます。笑顔の子ども達が増えると、地域全体が元気になって活性化されていくはず。

必要な人に必要な情報を提供し、子どもと親が地域と共に育っていくお手伝いをしたい。そんな想いを胸に、ろばみみは地域の子ども達を抱きしめ、新米ママと共に歩んでいます。

(青木)

きつず・あーと・ぶるじえくととは、毎月一回午前10時30分より、香美市立美術館またはアトリエで開催しています。子どもと一緒に作品を鑑賞したり、お家ではなかなかできない大胆な作品作りを通して、五感を育てる力を感じる力生る力を養います。材料費もしくは入場料が300円~500円程度かかります。

(お問い合わせ)
子育て支援ネットワーク ろばみみ
件名に「ろばみみ問い合わせ」と入れて下さい。

E mail: robamimi6833@softbank.ne.jp

挑戦する人を増やす!!

特定非営利活動法人 まあるい心ちゃれんじどの応援団



▲杉野理事長

お菓子作りから販売まで、チャレンジド（障がい者）が、一般就労できるように導くとともに、就労後も継続して働くことができるように支える「まあるい心ちゃれんじどの応援団」。

「挑戦する人を増やす!!」をモットーに活動している。

マニュアルがもたらす自信

「まあるい心ちゃれんじどの応援団」は、親亡き後のチャレンジドの行く末を憂えて、平成16年3月に設立、チャレンジドが一般就労することを目標に活動を行っている。

応援団が運営する施設の一つ菓子工房レナーは、製造から販売までを手掛ける中、ISO 22000を認証取得し、徹底した衛生管理マニュアルで、タルトやロールケーキなどを作っている。マニュアルを見れば、誰でも同じようにできることがチャレンジドの自信につながっている。また、販売でもコミュニケーションを意識し、伝える能力を磨いている。

挑戦する

応援団の理事長、杉野修氏おさむは、チャレンジドに、気力や自信をつけてもらうことが就労移行支援へつながる正道と考え、「ここに滞留せず、一般就労へ挑戦してほしい」と断言する。それは「自分が役に立っているということを持てて感じてほしいからだ」と言う。そしてやさしく微笑みながら言葉を継ぐ。「もし、上手いかなかったら帰ってこい」と。

南海トラフ地震に備えて

応援団の活動をもう一つ紹介しておきたい。いずれ来る南海トラフ地震が起これば、障がい者は健常者に比べ適切に逃げられない可能性が高いと言われている。

そこで、本年から始まるのが「脱!!災害弱者運動」の取り組みである。災害時、危険が迫ったときに上手く対応ができない人や、その保護者などを災害弱者会員として募っており、避難訓練や、スマートフォン等IT機器を利用した安否確認訓練等を行う予定だ。資金は、災害弱者会員からの寄付金とお菓子販売の売り上げ10%を活用する。

「脱!!災害弱者運動」を行うには、非常に高い売り上げ目標を達成する必要がある。スーパーマーケットなどの特設ブースでもお菓子を販売していることがあるので、見かけたら高知県民みんなで応援したい。

（高知大学人文学部3年 野藤寛樹のとうひろき）



▲笑顔で販売しています



▲人気のクッキーやケーキ ISO 22000認証



▲まあるい心ちゃれんじどの応援団 朝倉本店

えぬびい!
Oh!

バスキッズ定期券 連携

サマーキッズイベント

イベントのご案内

「バスキッズ定期券」を使って
あちこちを訪ねて
夏休みの思い出をつくろう!

【バスキッズ定期券とは】

小学生を対象に高知県内のほとんどの路線バスを、夏・冬・春休みの期間中、
乗り放題になるチケットです。詳しくは下記のお問合せ先まで。

8月18日 赤岡まちあるきとおじゃこグルメとシーカヤック! [香南市]

※申込み〆切8月14日

香南市赤岡は絵金とおじゃこの町。コンパクトな街を散策して新しい発見を探します。お昼ごはんは赤岡でがんばる「とさを商店」にて、おじゃこづくしの赤岡で当地グルメを堪能!。その後、手結に移動して、シーカヤックで土佐湾にこぎ出します!太陽の下で遊びまわる1日です。



ちりめんおこげ



ちゅうにち

■集合:09:30 はりまや橋
■解散:16:52 はりまや橋(東)
■費用:実費

- ・昼食(とさを商店) 600円/人
- ・シーカヤック 2,400円/大人(15人以上参加)
- ・シーカヤック 1,600円/小人(15人以上参加)
- ・シャワー 実費
- ・路線バス(保護者半額割引適用往復) 900円/人

※昼食は、みんなでとさを商店にていただきます。

メニューは「ちりめんおこげ」、「ちゅうにち」から選んでください。

募集
30名

8月27日 早明浦ダムに潜入! [土佐町/本山町]

※申込み〆切8月21日

四国の水瓶「早明浦ダム」。この大切な施設について学習します。今回は特別にこのダムの堤内に入って見学もさせていただきます。お昼ごはんの後は、帰りのバスの時間まで近くの汗見川で遊ぶもよし、吉野公園で遊ぶもよし。学習と遊びに忙しい1日です。



■集合:08:45 高知駅バスターミナル
■解散:17:28 高知駅バスターミナル
■費用:実費

- ・昼食代(レストランでの食事の場合)
- ・路線バス(保護者半額割引適用往復) 2,040円/人

※昼食は、弁当持参、もしくはさめうら荘レストランをご利用ください。

募集
30名



【お問合せ・お申し込み】

とさでん交通株式会社
乗合事業推進課

電話:088-833-7132

(平日 10:00~17:00)

【大切なお知らせ】

○キッズ定期券をお持ちの小学生と、その家族が対象のイベントです。

○保護者との参加を基本とします。保護者など一緒に参加される方は

バスなどの運賃(保護者は正規運賃の半額)が別途必要となります。

○帽子の持参やこまめな水分補給などについては、各自で十分に留意ください。

○基本的に高知市を出発する行程でスケジュールを組んでいますが、バスを使って合流できることを前提として
他市町村からの出発地については臨機応変に対応したいと 考えています。まずはお気軽にご相談ください。

○プログラムは天候や諸事情により内容を変更する場合があります。

予めご了承ください。また、その場合は参加者の皆さまには事前にお知らせいたします。

【主催】 とさでん交通株式会社 認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議 交通まちづくり部会

【後援】 高知県(交通運輸政策課) 高知市(交通政策課)

【協力】 キッズ定期券参加バス事業者各社

